

パキスタン国シンド州におけるインフォーマルセクターの女性家内労働者の生計向上および生活改善プロジェクト



当プロジェクトの通称 Light-F (Livelihood Improvement for Growth and Transformation of Female) ロゴは、パキスタンで、生命、真実、再生力を象徴するたいまつをあしらっています。パキスタンの女性たちの炎のように力強い上昇を願って作りました。

プロジェクトニュースレター第 5 号(2022 年 7 月)



卒業セレモニーにて、シンド州女性局次官がオープニングスピーチを行いました。

カラチで都市版卒業モデル研修の修了セレモニー開催

当プロジェクトでは、女性家内労働者に対して、家計収支の記帳や職業倫理などの「ライフマネジメント」、収入向上、金融サービスへのアクセスなどの能力向上を総合的に支援し、自立を促す「卒業モデル」の研修をパイロット実施しています。

カラチでは、連携している NGO (Women Development Foundation Pakistan : WDFP) と協力して「都市版」の卒業モデル研修を実施しました。参加女性たちは、身につけたスキルを活用して、美容サロンの経営、食事のケータリングサービス、縫製センターの運営など、様々なビジネスにチャレンジを開始しています。このパイロット活動が 2022 年初旬に終了したため、39 名の女性とその家族が参加して、修了セレモニーがカラチのホテルにて大々的に開催されました！

セレモニーでは、女性たちの学びや変化の声を事前にビデオで収録し、研修トピック毎に発表しました。動画により実際の女性たちの成長ぶりが見える化されたことで、プロジェクト活動の成果に関する関係者の理解が深まりました。女性たちにとっても、自身の声が大勢の参加者に放映されたことは、達成感と自信につながったようです。

夫や息子など多くの男性家族も参加してくれました。参加者がコメントを発表するコーナーでは、女性が父親に対する感謝を表明したり、夫が妻の卒業をお祝いするなど大いに盛り上がりしました。男性家族のサポートや「家族アプローチ」の重要性が示されました。



シンド州の伝統工芸品



プロジェクト概要

- 案件名: シンド州におけるインフォーマルセクターの女性家内労働者の生計向上および生活改善プロジェクト
- 協力期間: 2017 年 3 月 ~ 2022 年 10 月 (COVID19 の影響により 1 年延長)
- 相手国機関名: シンド州女性開発局 (WDD)
- 上位目標:
女性家内労働者 (FHBW) 向けの「生計向上ナレッジ・アンド・ツールキット」に含まれるサービスの一部を受けた FHBW の世帯数が増える。
- プロジェクト目標:
官民連携を通じて開発された女性家内労働者世帯の生計向上を目指すツールキット適用が促進される。
- 成果:
 1. ツールキットの適用促進に向けて WDD の能力が強化される。
 2. FHBW 世帯のライフマネジメント能力が向上する。
 3. FHBW 世帯の金融サービスアクセス能力が向上する。
 4. FHBW が収入向上に必要な知識と技術を習得する。
 5. フォーマルセクターへの女性雇用促進の重要性が啓発される。
- 対象地域: カラチ、サッカル

村の女性たちがスマートフォンを使って SNS デジタルマーケティングに挑戦中！

農村部においては、手工芸品を制作している女性たちを対象に、収入向上に向けた技術指導や基礎的なビジネス知識の強化研修などを行ってきました。しかしシンド州の農村部の多くは、道路など交通インフラが整っておらず、また女性だけで外出して町まで行くことは文化風習的に非常に困難であることから、製品を販売できるルートが限られています。そこでプロジェクトでは、彼女たちが村にいながらにして SNS で製品を販売することができるように、デジタルマーケティングの研修を実施しています。

まず女性たちにスマートフォンを貸与し、基本的な電話のかけ方、写真の撮り方、など基本的なことから指導しました。次に Facebook や Instagram のアカウント開設、ページのデザイン、商品の掲載、顧客とのコミュニケーションなどの指導に進みました。その結果、一人で月に 10 万ルピー*以上の売り上げる女性も出始めました！

特に若い女性たちの吸収力は驚くほど高く、次々と成功事例が生まれていますが、同時に様々な課題も顕著になりました。プロジェクトが最も注意しているのは、サイバーセキュリティの問題です。ほとんどの参加者のデジタルリテラシーは非常に低いので、個人情報の流出、著作権の安易な侵害、危険な外部者とのやり取り、詐欺、誹謗中傷、など、様々な問題が噴出しました。このため、サイバーセキュリティの研修を実施し、研修実施中も繰り返し注意喚起することで、問題の発生を事前に食い止めることに注意を払っています。

また参加者の識字率が低いことも課題です。いざ商品が売れても、顧客とのやりとりができず、せっかくのオーダーがキャンセルされてしまうことも多々ありました。今は写真やビデオの活用、ボイスメッセージの使い方の指導などに注力し、少しずつ問題を解決しています。

パキスタンでは、E コマースの利用が全国的に急拡大しています*。プロジェクトでは、デジタルデバイスの活用とデジタル能力の向上が、農村の女性たちの可能性の扉を開くことに大きな期待を持っています。

*日本円にして約 66,000 円(2022 年 7 月レート)

*パキスタンの E コマースの市場規模(2022 年)は 79 億ドルに達し、今後も年 7%成長すると予測されています。(パキスタン電気通信庁)



デジタル研修の様子は、YouTube でご覧頂きます。是非ご覧ください！

<https://www.youtube.com/watch?v=OHIFThIcJlI>



連携機関の Facebook で女性たちのサクセスストーリーを公開中！

上記でご紹介した都市版卒業モデルの成功事例を、連携 NGO の WDFP の Facebook にて公開しています。教育を受けることができなかったり、働くことに家族から反対されたり、様々な困難に直面しながらも、多様でユニークなビジネスを開始している女性たちの力強く生きる姿を是非ご覧ください。

<https://www.facebook.com/WDFP.org/>



後記：カラチは高層ビルが立ち並び人口約1600万人のメガシティで、おしゃれな女性もよく見かけます。他方、当プロジェクトの対象女性たちのように、機会が限られている人も大勢います。ほんの少しの新しい「機会」や情報が、こうした女性たちに大きな希望を与えるということを、目を見張るような変化を遂げた女性たちを目の当たりにして感じました。プロジェクト関係者一同、大きな希望を感じた修了式でした。

シンド州におけるインフォーマルセクターの女性家内労働者の生計向上および生活改善プロジェクト 2022 年 7 月